お客さま向け資料

フィデリティ・新興国中小型成長株投信

追加型投信／海外／株式

2024年3月

お申し込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

NOMURA
野村證券

商　　号：野村證券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

フィデリティ投信株式会社　Fidelity INTERNATIONAL

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第388号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

新興国、次なる成長ステージへ

中間所得層の増加に伴う消費の拡大、世界的なサプライチェーン再構築、現地企業による製品・サービスの内製化など構造的な追い風を受けて新たな成長ステージに入った新興国経済。

世界経済の中でも新興国の存在感はますます高まっています。

当ファンドは、新興国の中でもさらに成長の恩恵を受けられる中小型銘柄から、次世代の成長銘柄を発掘します。

新興国中小型株は市場自体がテンバガー*（10倍株）

新興国中小型株、新興国株、先進国株の長期推移

新興国中小型株
984.6

新興国株
810.8

先進国株
608.8

*テンバガーとは・・・
“株価が10倍になると期待される銘柄“

フィデリティの運用担当者だったピーター・リンチが使い始めたと言われています。

（注）MSCI、LSEGよりフィデリティ投信作成。期間は1999年1月末～2024年1月末。期間初を100として指数化。トータル・リターン。新興国中小型株はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数（円）、新興国株はMSCIエマージング・マーケッツ指数（円）、先進国株はMSCIワールド指数（円）を使用。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

ファンドのポイント

新興国の魅力

新興国は構造的な新成長ステージへ

新興国中小型株の魅力

新興国中小型株市場は高成長銘柄の宝庫

フィデリティの運用力

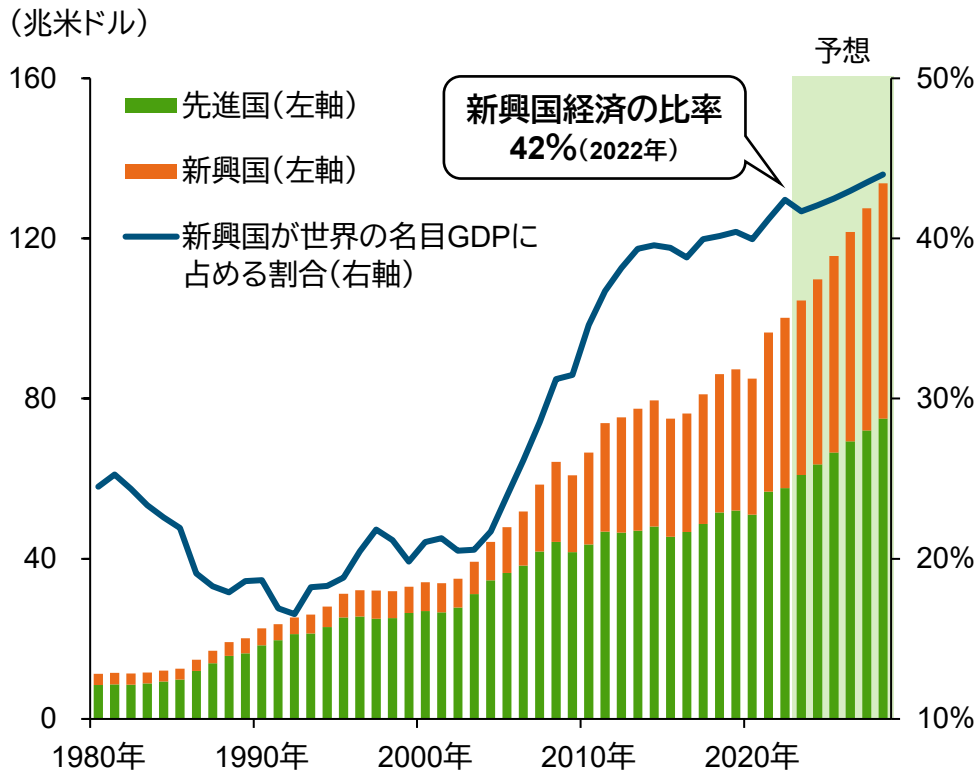
世界最大級の調査網に加え、地政学リスクや
ガバナンス分析のプロフェッショナルを擁する
独自の運用体制

世界経済の中で存在感が高まり続ける新興国経済

お客さま向け資料

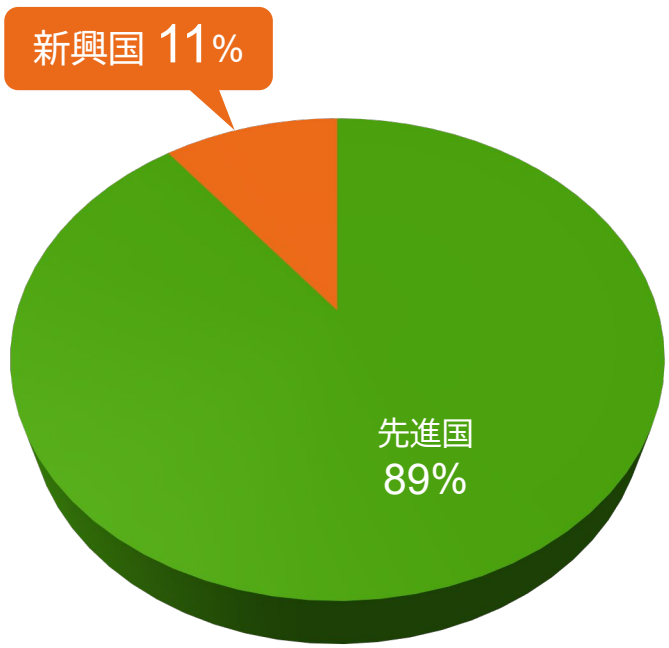
- 各国の経済成長を背景に、世界経済における新興国の存在感は高まり続けています。
- 株式市場では、新興国の占める割合が低水準にとどまっており、今後の拡大が期待されます。

世界の名目GDPの推移（1980年-2028年）



先進国・新興国のシェア（2023年末時点）

株式時価総額



（注）左図：国際通貨基金（IMF）よりフィデリティ投信作成。期間は1980年～2028年。2023年以降は予想値。先進国および新興国はIMFによる分類。米ドルベース。右図：LSEGよりフィデリティ投信作成。株式時価総額はMSCIワールド指数を先進国、MSCIエマージング・マーケッツ指数を新興国とし、両者の米ドルベースの時価総額比率から計算。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

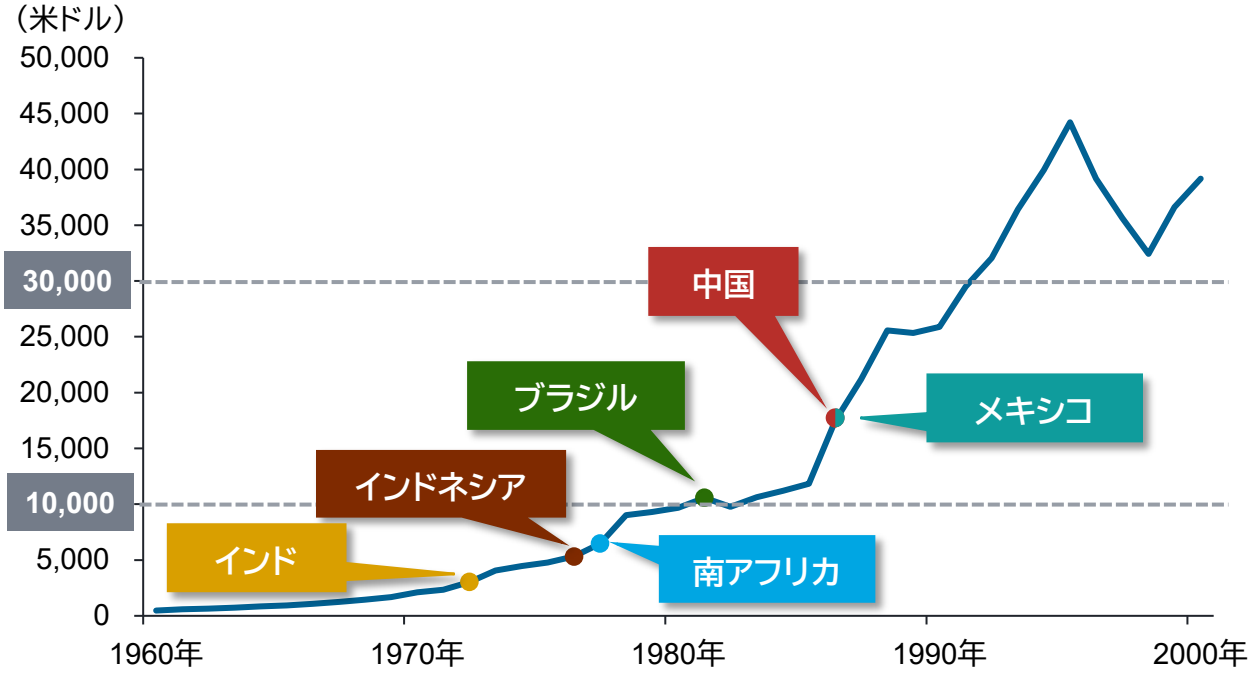
Fidelity INTERNATIONAL

新たな成長ステージへ
躍進が期待される新興国

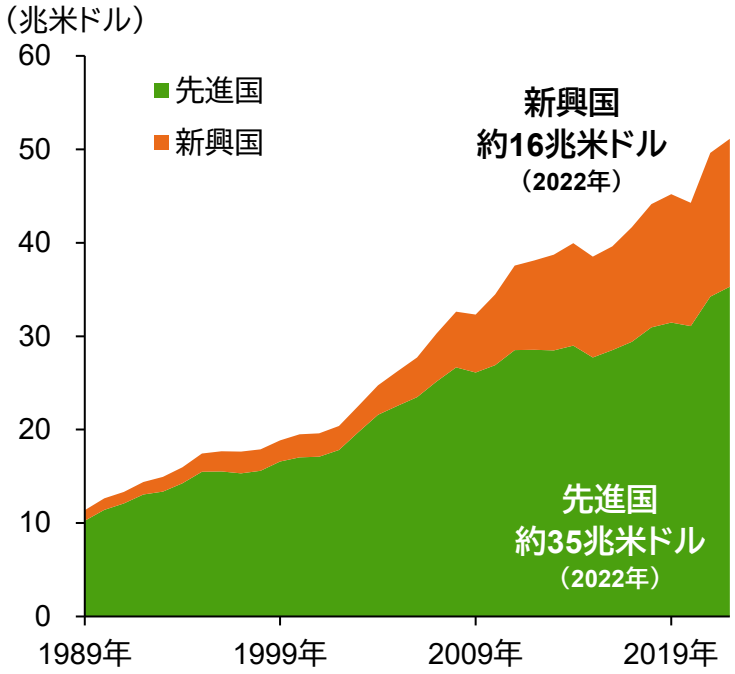
お客さま向け資料

- 日本では一人当たり名目GDPが1万米ドル付近に到達し、3万米ドル前後まで伸びた1980年からの約20年間で、人々の生活が豊かになり、経済発展とともに消費が活性化しました。
- 豊富な人口を抱える新興国では中間所得層の増加に伴う消費財の本格的な普及やサービス消費の拡大を背景に、経済の躍進が期待されます。

日本の一人当たり名目GDPの推移（1960年～2000年）および2023年時点の主要新興国の一人当たり名目GDP水準



主要新興国と先進国の最終消費支出の推移



（注）左図：世界銀行、国際通貨基金（IMF）よりフィデリティ投信作成。日本の一人当たり名目GDPの期間は1960年～2000年。1980年以前は世界銀行、1981年以降はIMFのデータ。新興国の一人当たり名目GDPはIMFによる2023年の推計値。日本の一人当たり名目GDPの推移の中で近い時点にそれぞれを重ねたもの。主要新興国については、MSCIが定義する新興国の中からファンド組入の上位国を掲載しています。いずれも米ドルベース。右図：世界銀行よりフィデリティ投信作成。期間は1989年～2022年。先進国は、イタリア、米国、英国、ドイツ、カナダ、フランス、日本。新興国は、インド、インドネシア、中国、南アフリカ、ブラジル、メキシコ。米ドルベース。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

新興国の魅力
3

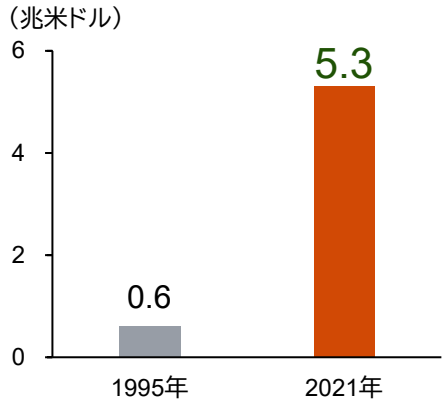
サプライチェーン再構築の恩恵が期待される

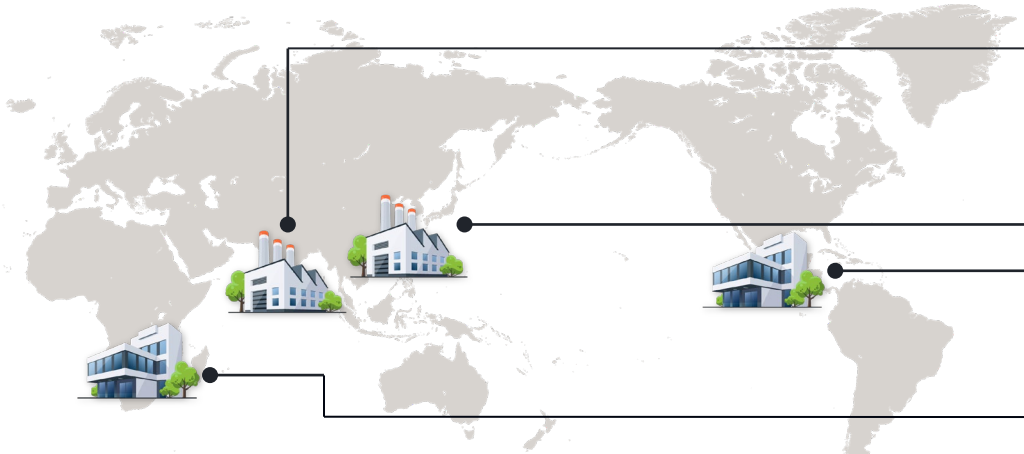
お客さま向け資料

台頭する新興国

新興国のかつての取引相手は先進国でしたが、経済発展が進んだことで新興国間の貿易が増加しました。
サプライチェーンを再構築する流れが続く中、投資拡大による経済効果が追い風となる新興国の現地企業に対する注目が高まっています。

新興国間の貿易量





サプライチェーンの再構築で注目が集まる各国・地域の生産・投資状況

インド

米半導体大手、
マイクロン・テクノロジーズ

最大**27.5**億米ドルを出資し、段階的に半導体製造工場を建設する計画を2023年に示した。

台湾

先端半導体の製造に注力、
TSMC

アップルからiPhone等の部品製造を受託する同社は半導体の受託生産で**世界シェア第1位**。

メキシコ

トップシェアの完成車メーカー、
トヨタ自動車

生産強化のため、2023年に追加投資を行い、累計**12**億米ドルを投資。

南アフリカ

ECとクラウドサービスに強み、
アマゾン・ドットコム

アフリカの幅広い地域にサービスを提供するため、2018年～2029年までに**25.3**億米ドル*を投資。

（注）各種公表資料、報道、国連よりフィデリティ投信作成。左上図は金額ベース。2024年2月時点。指し示す位置は、正確な国や地域とは異なる場合があります。*会社公表資料、2023年3月2日時点の1米ドル=18.1772南アフリカランドで換算。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

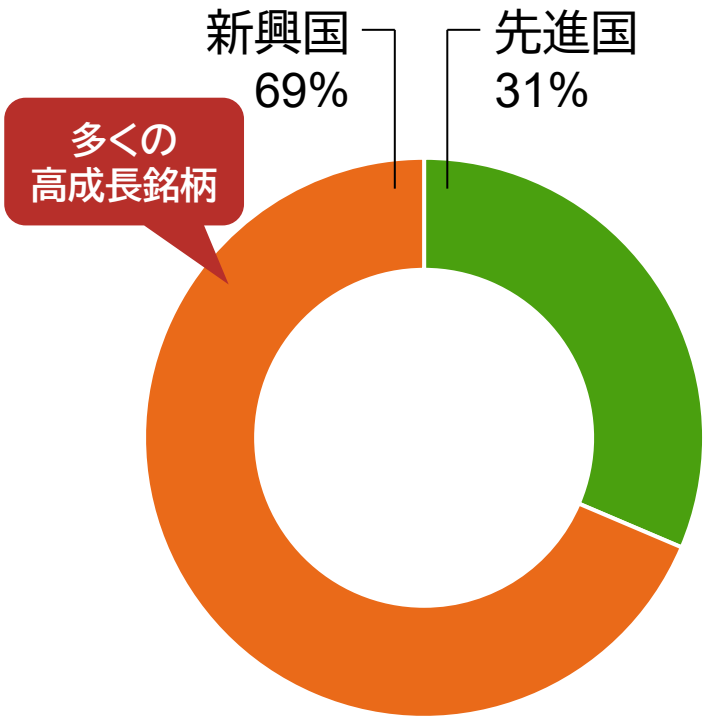
Fidelity INTERNATIONAL

著しい成長を遂げる新興国現地企業

お客さま向け資料

- 世界の高成長企業においては、先進国企業と比べて新興国企業が多くの割合を占めています。
- 現地企業が様々なビジネス領域で高い市場シェアを獲得して成長しています。

世界の業績高成長企業 上位500銘柄内における比率



現地に根付いてビジネスを展開するNo.1地域企業

インド オンライン旅行予約 No.1

メークマイトリップ（オンライン旅行予約）

国内・国際旅行券やホテル、バスの予約を提供。売上は10年で約2.4倍へと成長。

ブラジル レンタカー No.1

ローカライザ・レンタカー（モビリティ）

個人および法人向けのレンタカー事業を手掛ける。売上は10年で約2.2倍へと成長。

中国 食肉業界 No.1

万洲国際（WHグループ）（食品加工）

豚肉生産、加工、小売などを手掛ける。売上は10年で約4.5倍に拡大。

（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：2022年末におけるMSCIオール・カントリー・ワールド指数構成銘柄について、2012年末と2022年末の売上高を比較。米ドルベース。売上高成長率の上位500社について、MSCI社の国定義に基づき先進国、新興国に区分。新興国はMSCIエマージング・マーケッツ指数の構成国、それ以外を先進国として計算。右図：ランキングについては、メークマイトリップはオンライン航空券予約数ベースで同社IRより（2019年時点）、ローカライザ・レンタカーは台数ベースで同社IRおよびmovida社IRより（2021年時点）、万洲国際（WHグループ）は売上高ベースで同社HPなどより（2020年時点）。文章中の売上高は2012年末と2022年末を比較。米ドルベース。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

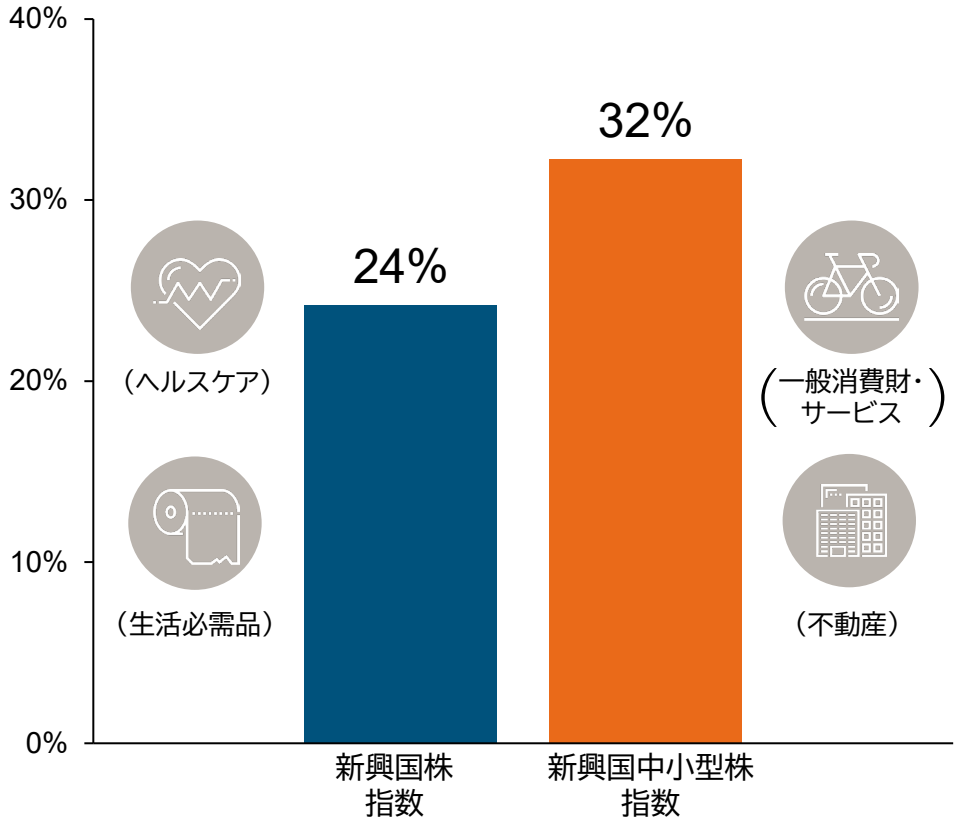
Fidelity INTERNATIONAL

経済成長の恩恵を受けながら、特定の国に偏らない投資機会を提供

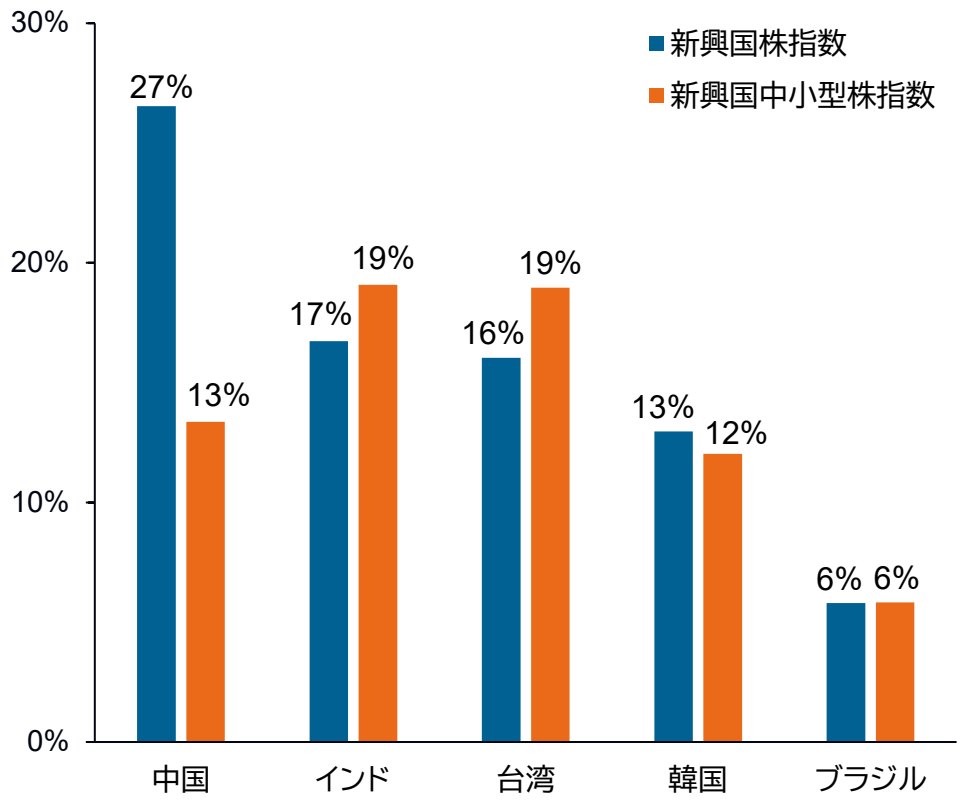
お客さま向け資料

- 新興国中小型株は内需関連銘柄が多く、経済成長の恩恵をより直接的に受けることができます。
- さらに、新興国株指数よりも構成国の偏りが少なく、より広範な地域から投資対象を選別できます。

各指数の内需関連銘柄の割合



各指数における構成銘柄の所在国上位5カ国・地域



（注）FMR Co、MSCIよりフィデリティ投信作成。新興国株指数はMSCIエマージング・マーケッツ指数、新興国中小型株指数はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数。時点は2023年12月末時点。内需関連銘柄とは、MSCI/S&P世界産業分類基準11業種における、一般消費財・サービス、生活必需品、ヘルスケア、不動産を合計。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

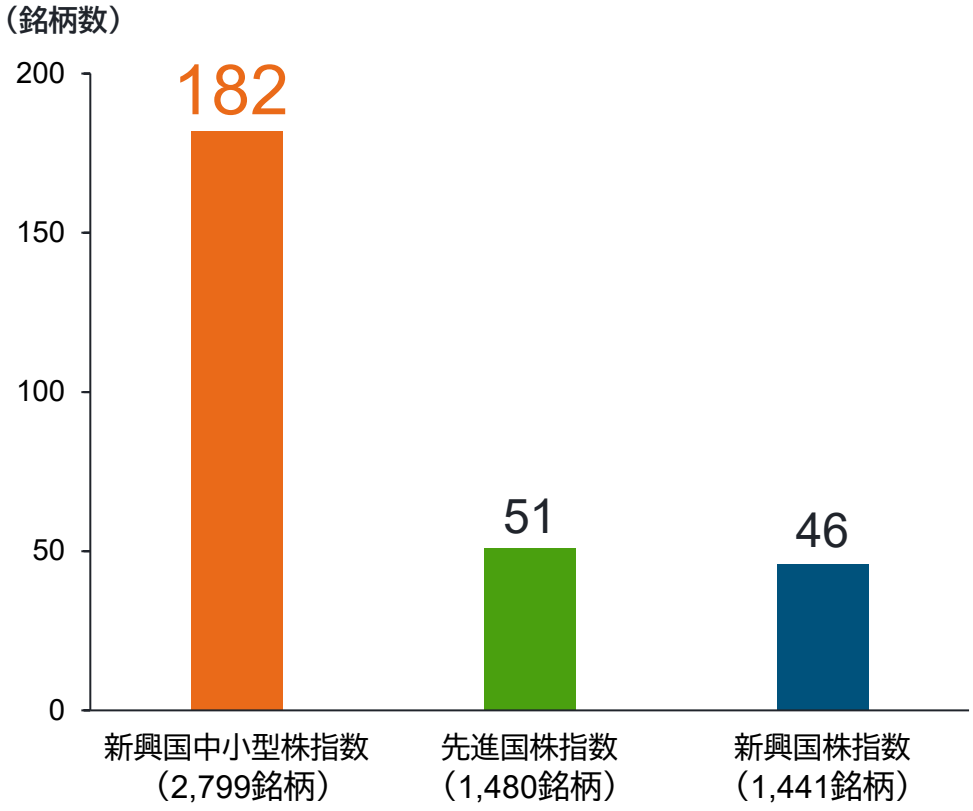
Fidelity INTERNATIONAL

テンバガーの可能性を秘めた原石が多数存在

お客さま向け資料

◆ テンバガー達成銘柄の過去10年の上昇率は平均で約30倍となっており、新興国中小型株の達成銘柄数は180以上となっています。

過去10年でのテンバガー達成銘柄数



テンバガーの期待が溢れる新興国中小型株の中で、当ファンドは3つの切り口で高成長銘柄を発掘

切り口1

飛躍的な内需拡大

切り口2

サプライチェーン再構築

切り口3

現地企業による製品・サービスの内製化

（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：新興国中小型株指数はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数、先進国株指数はMSCIワールド指数、新興国株指数はMSCIエマージング・マーケッツ指数。2023年12月末時点のそれぞれの指数の構成銘柄について、2023年12月末と2013年12月末時点の米ドルベースのトータル・リターンを比較。各指数において取得可能なデータに基づき算出。右図：投資の切り口については、2024年1月末時点。今後予告なく変更する可能性があります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

投資テーマと銘柄事例：切り口1
飛躍的な内需拡大

お客さま向け資料

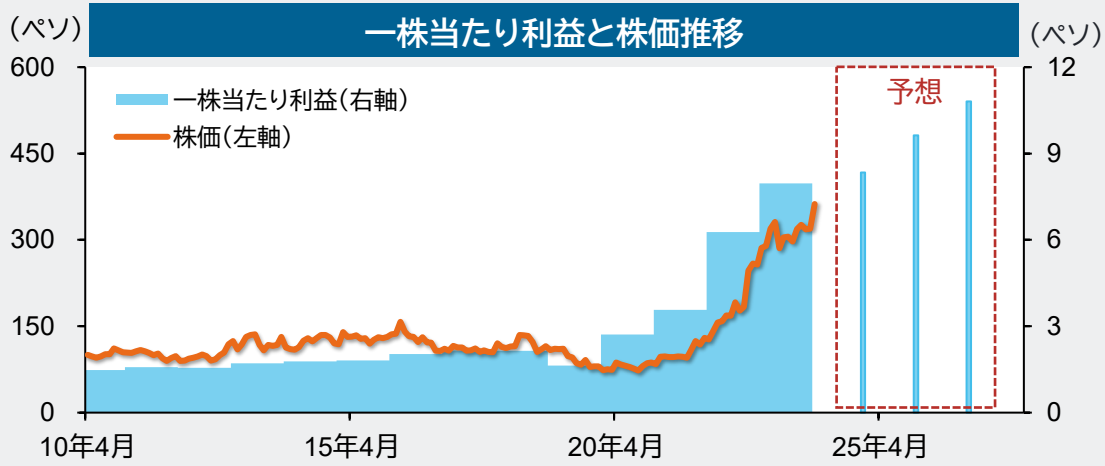
◆ メキシコでは人口増加や所得増加に伴い消費が拡大してきました。こうした構造的な追い風により、内需関連企業は堅調な業績の伸びを続けるとみられます。

グルポ・コメルシアル・チェドラウイ
メキシコや米国で活動するスーパーマーケット

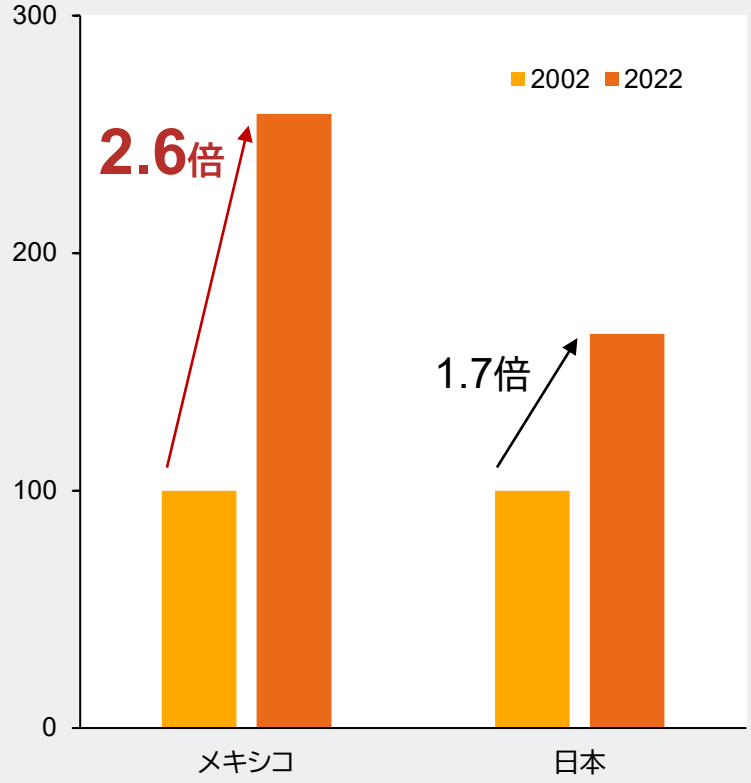
概要 1920年にメキシコで創業し、長年にわたりビジネスを展開。大規模店舗から生活密着型の小型店舗まで幅広く手掛け、消費を取り込んでいます。

注目ポイント メキシコでの消費拡大を背景とした新規出店が成長をけん引しており、良好な事業環境が続いていると考えられます。

時価総額	予想PER	実績PBR
1,117億ペソ（約9,603億円*）	12.2倍	2.9倍



メキシコ・日本における家計支出の推移



（注）経済協力開発機構（OECD）、LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：PERは株価収益率で12カ月先予想、PBRは株価純資産倍率、時価総額、予想PER、実績PBRは2024年1月末時点。株価の期間は2010年4月末（新規株式公開をした月末）～2024年1月末、トータル・リターン。一株当たり利益は、2010年12月期～2026年12月期。2024年12月期以降は市場予想。いずれも現地通貨ベース。右図：期間は2002年～2022年、期間初を100として指数化。米ドルベース。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。*2024年1月31日時点の1メキシコペソ=8.60円で換算。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

投資テーマと銘柄事例：切り口2 サプライチェーン再構築

お客さま向け資料

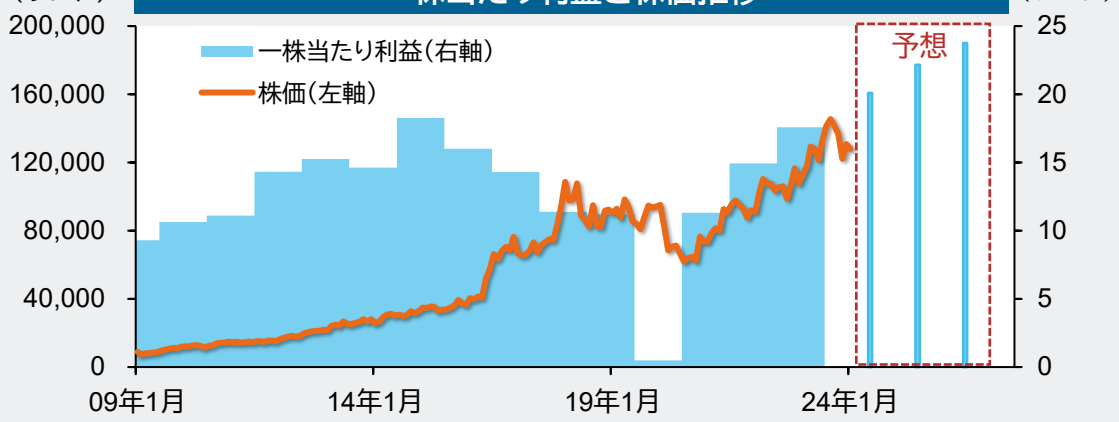
◆ 米国・中国間での対立などに伴い世界的なサプライチェーン再構築の動き広がるなか、投資を受ける新興国を中心に経済の成長ならびに貿易量の増加、恩恵を受ける企業の成長が期待されます。

ビッドヴェストグループ
南アフリカの貿易、流通企業

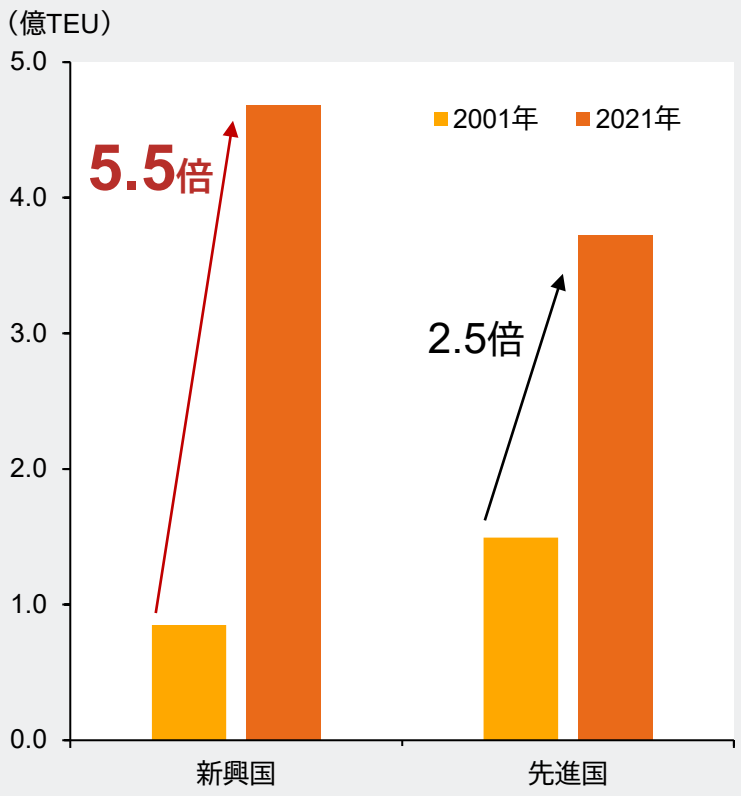
概要	港湾管理事業に関する豊富な経験を有しています。南アフリカ政府が貿易の拡大を推進しており、サプライチェーン再構築に伴う恩恵が期待されます。
注目ポイント	資本利益率に重点を置く企業文化を備え、優れた経営陣を擁し、収益成長力を有している点が評価されます。

時価総額	予想PER	実績PBR
840億ランド（約6,593億円*）	11.8倍	2.5倍

一株当たり利益と株価推移



港湾コンテナ輸送量・変化（20年前比）



（注）世界銀行、LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：PERは株価収益率で12カ月先予想、PBRは株価純資産倍率、時価総額、予想PER、実績PBRは2024年1月末時点。株価の期間は2009年1月末～2024年1月末、トータル・リターン。一株当たり利益は、2009年6月期～2026年6月期。2024年6月期以降は市場予想。いずれも現地通貨ベース。右図：世界銀行の区分に基づき、新興国は中低所得国、先進国は高所得国を使用。2001年と2021年の数値を比較。単位のTEUはTwenty-foot Equivalent Unitsで、20フィートコンテナ1個分を示す。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。*2024年1月31日時点の1南アフリカランド=7.85円で換算。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

投資テーマと銘柄事例：切り口3
現地企業による製品・サービスの内製化

お客さま向け資料

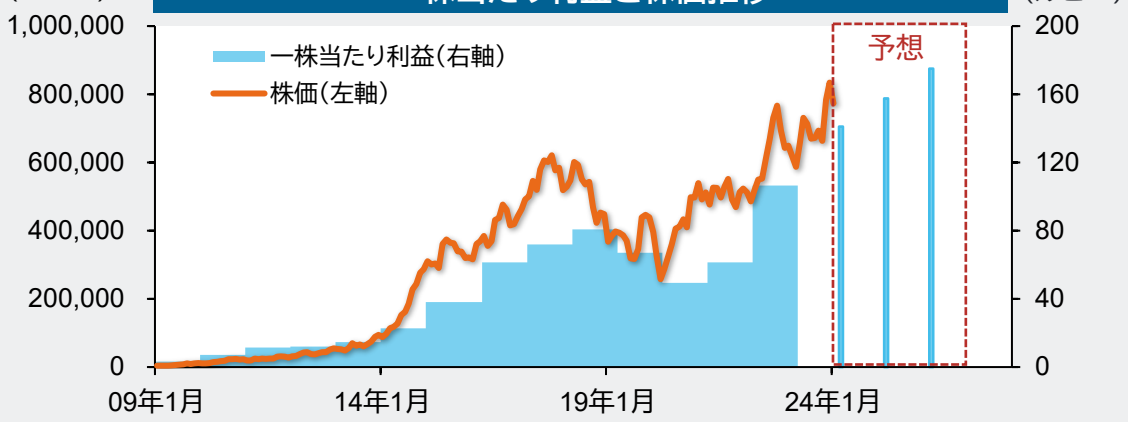
◆ 先進国が先行していた分野の製品・サービスを現地に取り込み、独自に製造・販売することで躍進を遂げる企業の業績成長が見込まれます。

アイシャー・モーターズ
インドの二輪車・自動車関連企業

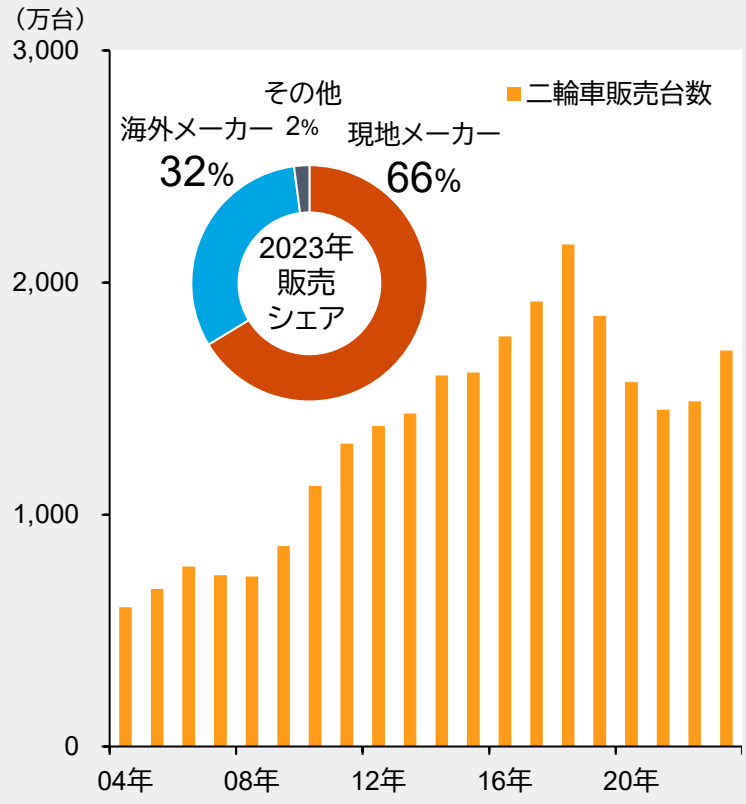
概要	二輪車市場における強力なブランド力で消費者を惹きつけており、価格決定力や収益性の高さにつながっています。
注目ポイント	インドでの所得水準向上に伴い二輪車市場で高価格帯の製品が志向されるなか、高いブランド認知度を有する同社の業績のさらなる成長が期待されます。

時価総額	予想PER	実績PBR
1兆512億ルピー（約1兆8,816億円*）	24.5倍	7.0倍

一株当たり利益と株価推移



インド・二輪車販売台数と現地企業の販売シェア



（注）LSEG、インド自動車販売店協会連合（FADA）よりフィデリティ投信作成。左図：PERは株価収益率で12カ月先予想、PBRは株価純資産倍率、時価総額、予想PER、実績PBRは2024年1月末時点。株価の期間は2009年1月末～2024年1月末、トータル・リターン。一株当たり利益は、2009年12月期～2026年3月期。会計期間の変更に伴い2015年1月～2016年3月は同一数値。2024年3月期以降は市場予想。いずれも現地通貨ベース。右図：期間は2004年～2023年。現地企業の販売シェアは2023年通年の数値に基づく。掲載されている個別の銘柄・企業名については、あくまで参考として述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。*2024年1月31日時点の1インドルピー=1.79円で換算。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

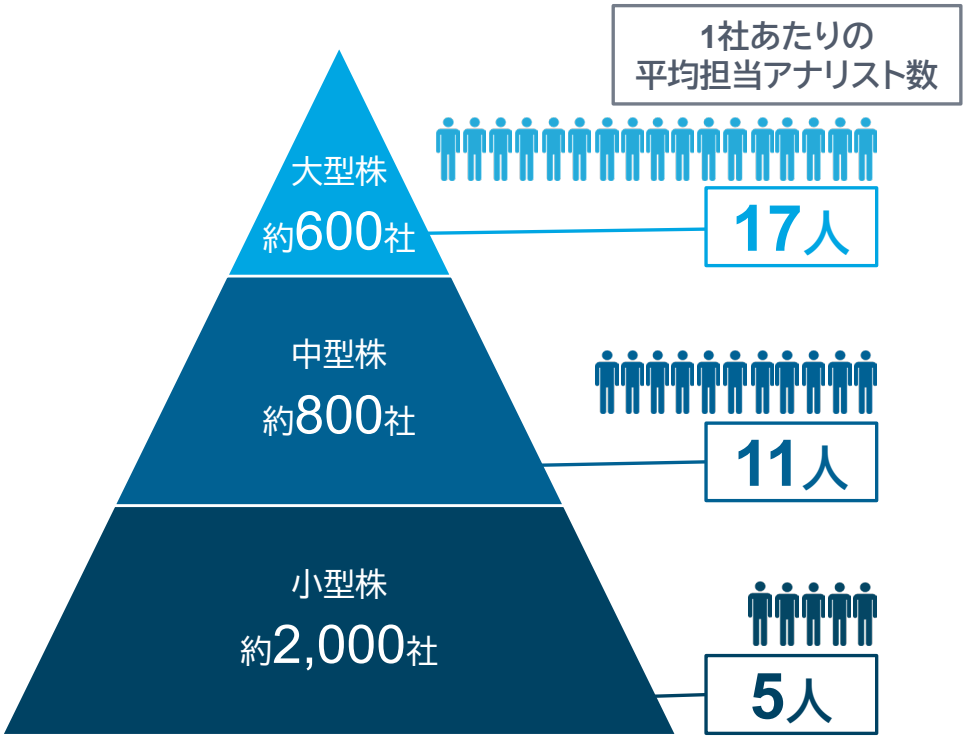
Fidelity INTERNATIONAL

豊富な企業調査力が不可欠な新興国中小型株市場

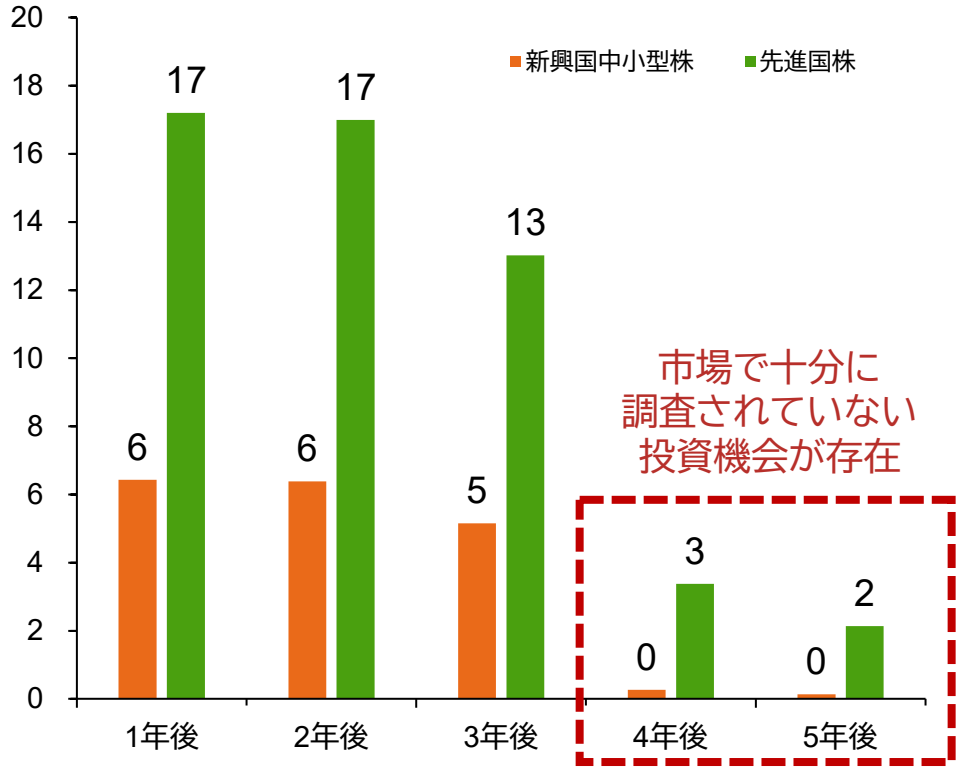
お客さま向け資料

◆ 中小型株に対する市場での企業調査は不足しており、高成長の可能性を秘めていても、投資家に認知されていないが故、割安に放置されている投資機会が多数存在します。

各新興国株指数の銘柄数と平均担当アナリスト数



市場アナリストによる先行き業績予想数（1銘柄あたりの平均）



（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。左図：新興国大型株はMSCIエマージング・マーケッツ大型指数、新興国中型株はMSCIエマージング・マーケッツ中型指数、新興国小型株はMSCIエマージング・マーケッツ小型指数、2023年12月末時点の各指数構成銘柄に基づき算出。各指数について1年先予想数の平均を計算。右図：新興国中小型株はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数、先進国株はMSCIワールド指数、2023年12月末時点の指数構成銘柄に基づいて、それぞれの銘柄の市場アナリストによる業績予想数を集計。

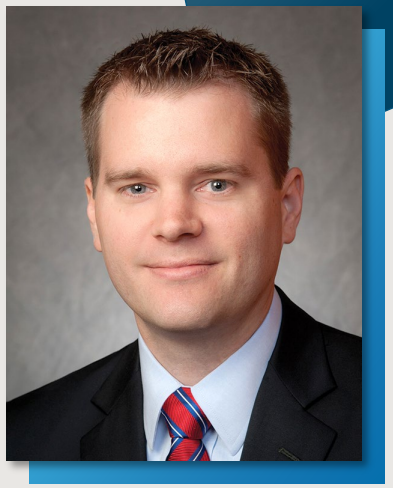
※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

優れた中小型成長株を発掘する運用哲学

お客さま向け資料

20年以上の運用調査経験



運用担当者
グレゴリー・リー

2007年フィデリティ・インベスメンツ入社。新興国企業の調査担当などを経て、2014年6月より参考ファンドの運用を担当。2002年より資産運用業に携わる。ニューヨーク大学MBA。

EMERGING HUNTER

素晴らしいビジネスを有する企業に、本源的な価値を下回る価格で投資することこそが、成功のカギである。

素晴らしいビジネス

- 資本コストを上回る利益を長期にわたり稼げる成長企業。
- 競争力のある製品・サービスを持ち、業界における強固な地位を築いている、または将来築くことが期待される企業。

×

割安

- 市場が見過ごしている投資機会を発掘。
- 一方、企業のキャッシュフロー、バランスシート、経営者・ガバナンスに注目することでバリュートラップ*を回避。

*バリュートラップとは、株価指標から割安と判断される銘柄に投資したものの、一向に値上がりしない状況に陥ることを指します。割安の罠とも呼ばれます。

バッティング・アベレージ手法

均等ポートフォリオ（1銘柄に大きく投資しない）アプローチを採用し、それによって認知・自信過剰バイアスを最小化し、コンスタントに市場に勝ち続ける投資手法を重視。

（注）FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年3月時点。あくまでイメージであり、実績ではありません。今後予告なく変更する可能性があります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。

Fidelity INTERNATIONAL

フィデリティの運用力
3

世界最大級かつ独自の運用体制によって優れた投資機会を発掘

お客さま向け資料

- フィデリティは世界最大級の運用体制を持ち、新興国運用にも力を注いでいます。
- 地政学・安全保障アドバイザーやガバナンス分析担当が新興国企業特有の経営リスクを見極め、運用をサポートするという独自の体制を構築しています。

世界最大級の運用体制

新興国運用に対する独自の体制

43名の新興国運用チーム

内**20**名の専任企業調査担当は
2015年比で**4**倍の陣容に拡大

サポート

- ガバナンス・フォレンジック(不正)会計調査チーム
- 地政学・安全保障アドバイザー

リスク分析を通じ運用をサポート

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。運用体制・プロフェッショナル数は2023年6月末時点。ポートフォリオ・マネージャー、アナリスト、トレーダー、部門マネジメント等を含んだ人数。企業調査レポート数は、株式運用チーム全体での2022年の作成数。運用資産額は2023年6月末時点。1米ドル＝144.535円で円換算。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。

Fidelity INTERNATIONAL

豊富な実績をもつ 地政学リスク・ガバナンス調査チーム

お客さま向け資料

- 元CIAの地政学リスク専門家が、企業経営に重大な影響を及ぼすリスクを見通します。
- さらに、ガバナンス分析担当によって不正を見抜き、真に優れた銘柄の発掘に努めます。

地政学・安全保障アドバイザー

企業経営に影響を及ぼしうる政治的、軍事的、経済的なリスクを見通す専門家*

* 米**CIA**に20年以上在籍し、作戦担当官として従事

リスクの高まりを事前に見通す

- 特定地域・国における軍事的緊張の高まりを分析し、**運用チームに対して警告**を発する
- 状況に応じて、運用チームは当該地域、制裁対象見込み国への**投資を抑制**

ガバナンス・フォレンジック（不正）会計調査チーム

企業のガバナンス・不正会計問題等を見抜く専門チーム

いち早く不正を見抜く

- 銘柄Aの新規株式公開前の調査で問題を発見、**投資を見送り**
- その後、不正会計問題が公になり株価は暴落、**上場廃止**に

市場の見誤りを見抜く

- 銘柄Bが空売りファンドによる不正会計指摘を受け株価急落
- チームは指摘内容に**疑義があると判断**し、社内に情報共有
- その後B社の疑惑は晴れ、株価は**大幅に回復**

（注）FMR Coよりフィデリティ投信作成。2024年1月時点の情報に基づき作成。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。

当ファンドの運用プロセス

お客さま向け資料

投資ユニバース

新興国の中小型の上場銘柄が対象

- フィデリティのグローバル調査体制を活用し、MSCI新興国中小型株指数の構成銘柄（約2,800銘柄、上場不動産投資信託を含む）を中心に幅広く銘柄を調査
- アナリストからの情報に加え、企業との直接面談を積極的に実施

ファンダメンタルズ分析

- ビジネスモデル、業界構造、参入障壁の高さ等を徹底分析
- 経営陣の質、資本コストを上回る利益成長性を長期にわたり維持できるか見極め
- 地政学リスク専門家やガバナンス分析担当の知見を活用

バリュエーション評価

- 市場が見過ごしている割安な成長企業を発掘
- 複数のバリュエーション評価手法を活用
- 企業の財務基盤やガバナンス等の分析を通じてバリュートラップを回避

ファンド

- 特定の銘柄に集中させず幅広く分散投資

想定組入銘柄数
100～150 銘柄程度

（注）FMR Coよりフィデリティ投信作成。2023年12月末時点、相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

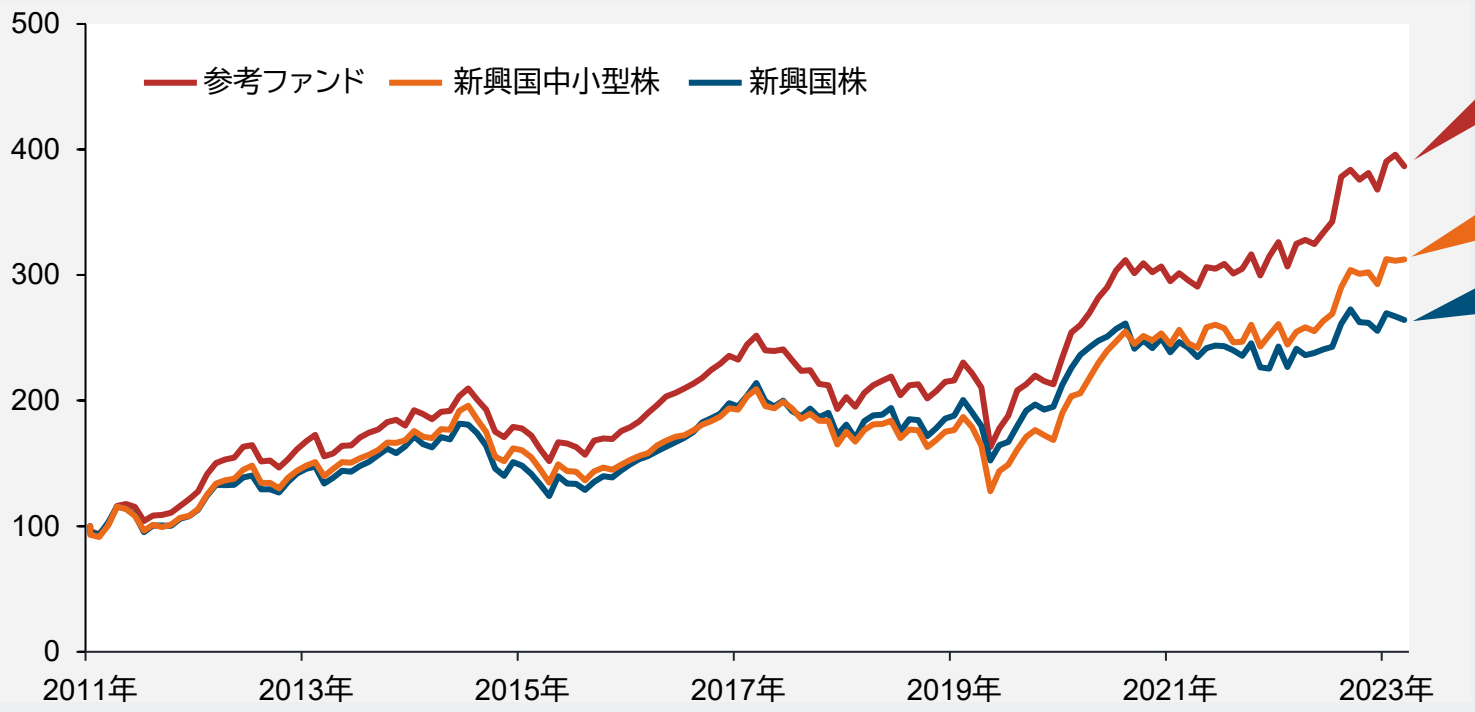
Fidelity INTERNATIONAL

参考ファンドは設定来で良好な実績

お客さま向け資料

◆ 有望な高成長銘柄の発掘を通じ、市場を上回る運用実績を継続しています。

参考ファンド、新興国中小型株、新興国株の推移（円ベース）



参考ファンド
386.6

新興国中小型株
312.4

新興国株
264.2

参考ファンドのランキング
（米国籍・新興国株カテゴリー）

過去5年	過去10年
57位 ／645ファンド中 （上位9%）	23位 ／389ファンド中 （上位6%）

（注）FMR Co、LSEGよりフィデリティ投信作成。期間：2011年11月1日（参考ファンド設定日）～2024年1月31日。新興国株は、MSCIエマージング・マーケッツ指数（円）。新興国中小型株は、MSCIエマージング・マーケッツ中小型指数（円）。期間初を100として指数化。トータル・リターン。米国籍ファンドでの費用控除後。ランキングは2024年1月末時点。米ドルベース。Lipper Global分類の新興国株におけるトータルリターンとランキング。この表に含まれるファンド情報のすべては、LSEG Lipperによって提供されたものであり、以下の条件に従うものとします。Copyright2024© LSEG. すべての権利はLSEGに帰属します。Lipperはコンテンツの誤りや遅延、またはそれに依拠して取られた行動に対して責任を負いません。上記は過去の実績であり、将来の動向、数値などを保証もしくは示唆するものではありません。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Emerging Markets Discovery Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」とは費用等が異なります。

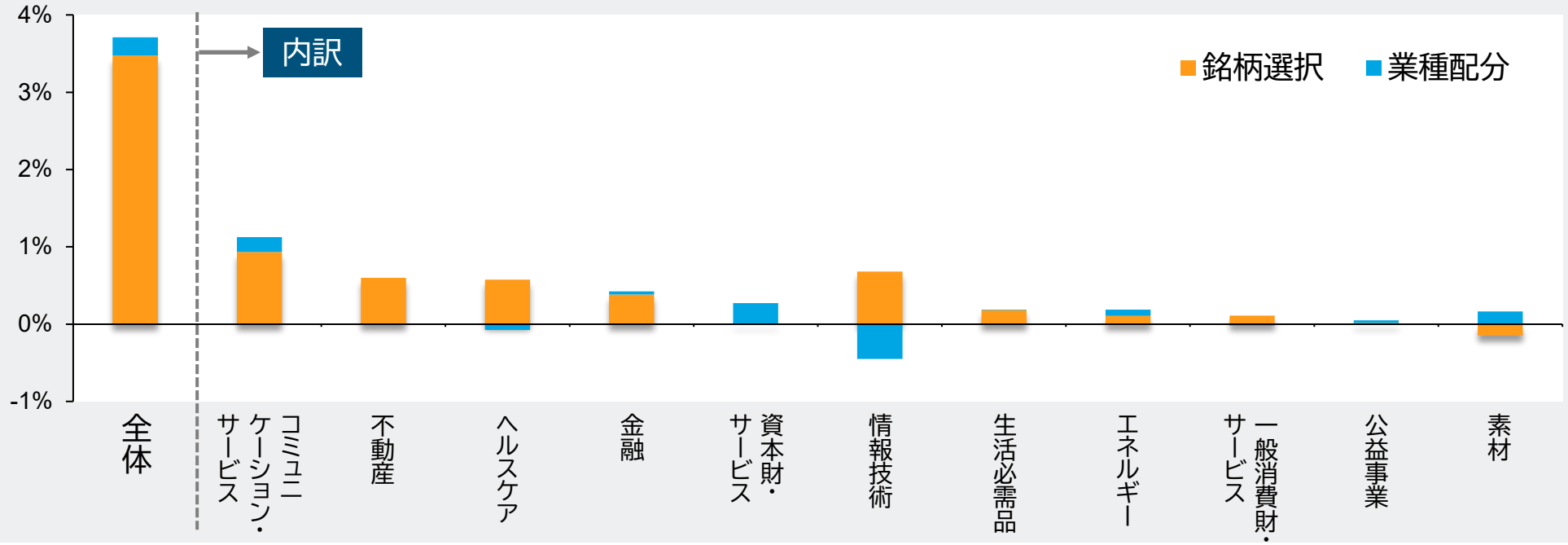
※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

参考ファンドの市場指数に対するパフォーマンス要因分解

お客さま向け資料

◆ 参考ファンドは、各業種への投資割合に基づく業種配分によるプラス寄与と比較して、各銘柄の選別に基づく銘柄選択によるプラス寄与が大きく、徹底的な企業調査による銘柄選別がリターンに貢献してきました。

新興国中小型株指数に対する超過収益の要因分解（過去5年間累積）



（注）FMR Coよりフィデリティ投信作成。期間は2018年12月末～2023年12月末。新興国中小型株指数は、MSCIエマージング・マーケッツ中小型指数。グラフの全体は、現金や先物などを除く株式部分を積み上げた結果。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Emerging Markets Discovery Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

ご参考

リスク・リターン特性と期間別平均リターン（参考ファンド設定来）

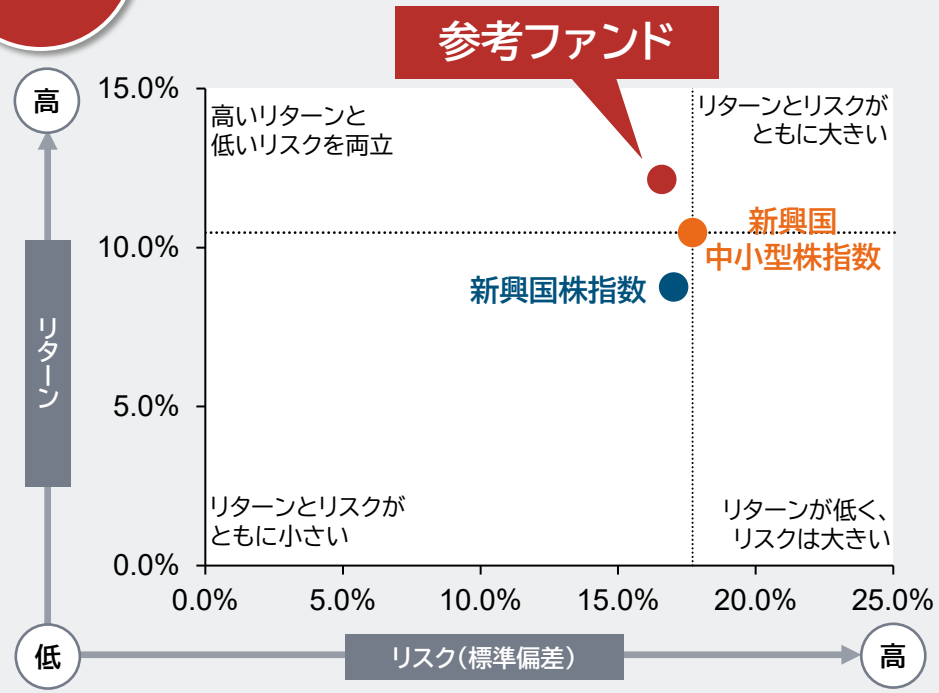
お客さま向け資料

◆ 参考ファンドは、リスクを新興国株市場よりも低い水準にとどめつつ、良好なリターンを達成しています。

◆ 過去、参考ファンドは長期の保有で安定的にリターンを獲得しています。

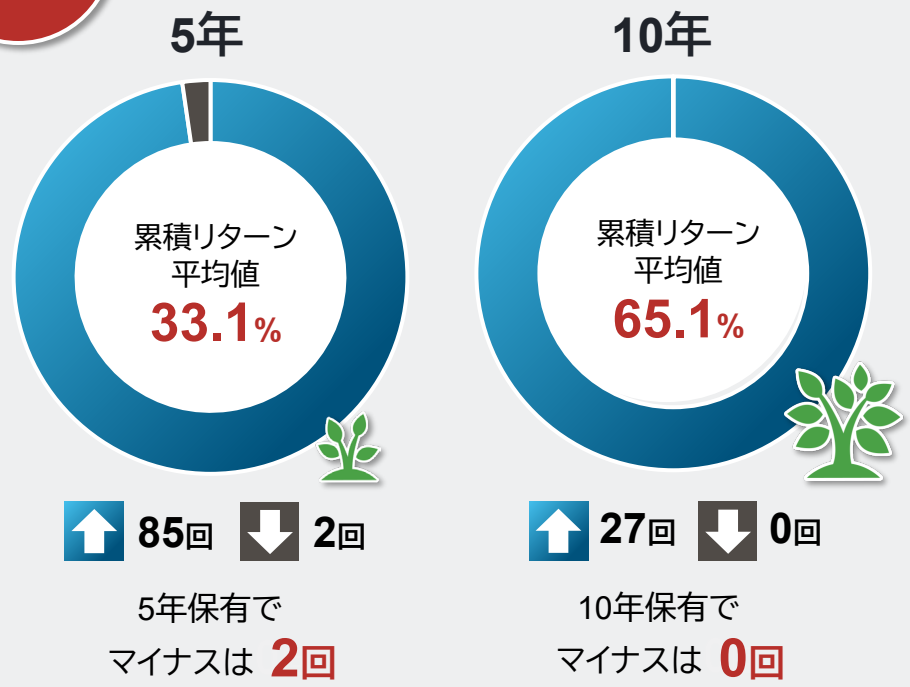
参考ファンドの運用実績

リスク・リターン特性



参考ファンドの運用実績

期間別平均リターンと上昇・下落の回数



（注）FMR Coよりフィデリティ投信作成。左図：期間は2011年11月末～2024年1月末。月次リターン（円換算ベース）に基づく。トータル・リターン。米国籍ファンドでの費用控除後。新興国中小型株指数はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数、新興国株指数は、MSCIエマージング・マーケッツ指数。右図：期間は2011年11月～2024年1月末。円ベース。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Emerging Markets Discovery Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

参考ファンドの組入上位銘柄（2023年12月末時点）

お客さま向け資料

銘柄	業種	国・地域	概要	比率
アフヤ	一般消費財・サービス	ケイマン諸島（英領）	主にブラジルで医学部を中心に歯科、看護、放射線学など医療教育サービスを提供。	1.4%
欣興電子（ユニマイクロン・テクノロジー）	情報技術	台湾	電子機器向けの総合基板メーカーの世界大手。	1.4%
バーラト・エレクトロニクス	資本財・サービス	インド	防衛装備品や航空宇宙関連製品およびサービス等を開発・製造。	1.4%
瑞昱（リアルテック・セミコンダクター）	情報技術	台湾	通信機器やPC向けの各種集積回路（IC）を製造。	1.4%
ロジャス・レナー	一般消費財・サービス	ブラジル	衣料品や装飾品など幅広く手掛けるブラジル有数の百貨店。オンライン販売にも注力。	1.4%
カトリオン・ケータリング・ホールディング	資本財・サービス	サウジアラビア	機内食の提供が祖業。小売、ケータリング、施設管理まで事業を拡大。	1.4%
国巨（ヤゲオ）	情報技術	台湾	携帯電話や電気自動車向けの電子部品を製造。	1.3%
エクアトリアル・エネルジア	公益事業	ブラジル	発電・配電事業を主力とし、電力の販売・サービス、電気設備の保守なども提供。	1.3%
ヒンドゥスタン・エアロノーティクス	資本財・サービス	インド	インド国内最大級の航空機製造会社。防衛産業向けの航空機製造も手掛ける。	1.3%
元太科技工業（イー・インク・ホールディングス）	情報技術	台湾	電子書籍端末やデジタルサイネージ等に使用される電子ペーパーディスプレイの大手。	1.3%

（保有銘柄数：103）

（注）LSEG、FMR Co よりフィデリティ投信作成。2023年12月末時点。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。対純資産総額比率。掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

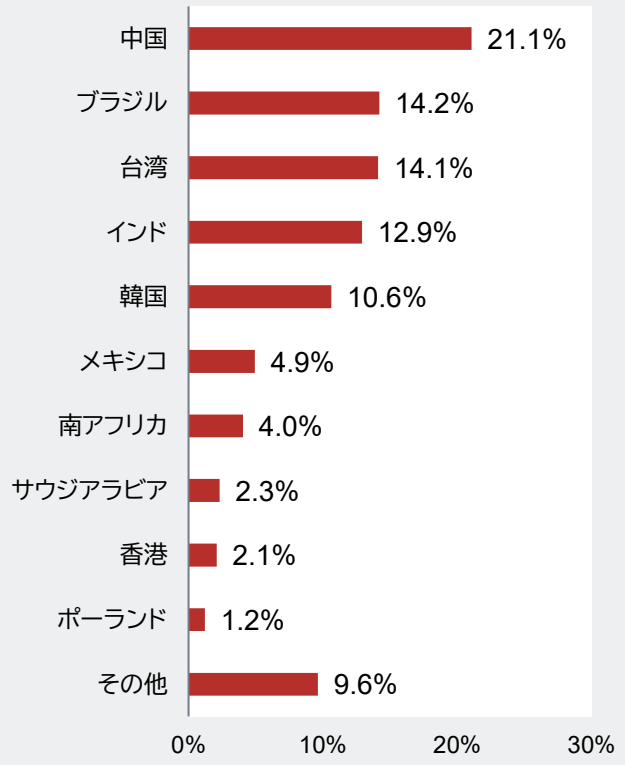
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Emerging Markets Discovery Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

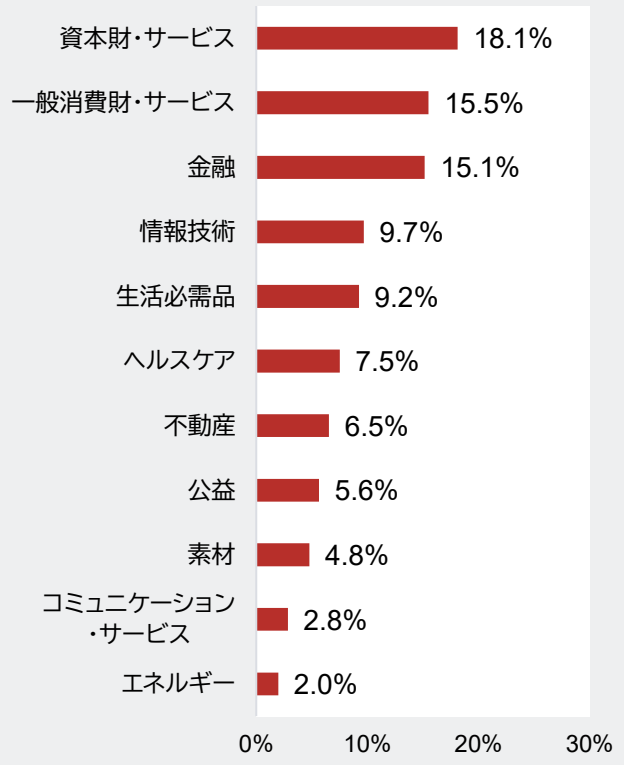
参考ファンドの国・地域別配分・業種別配分（2023年12月末時点）

お客さま向け資料

国・地域別配分



業種別配分



ポートフォリオ特性

	ファンド	新興国中小型株
予想株価収益率（倍、PER）	12.0	13.2
株価純資産倍率（倍、PBR）	1.6	1.5
1銘柄当たり平均時価総額（10億米ドル）	7.1	4.1

時価総額規模別の組み入れ	ファンド（%）	新興国中小型株（%）
200億米ドル～	6.3	0
100億米ドル～200億米ドル以下	13.8	4.2
20億米ドル～100億米ドル以下	57.9	65.2
20億米ドル以下	22.0	30.6
合計	100.0	100.0

（注）FMR Co よりフィデリティ投信作成。2023年12月31日時点。国・地域別配分および業種別配分は対純資産総額比率。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。時価総額規模別の組み入れは対投資資産比率。配分比率はそれぞれの項目を四捨五入して表示。新興国中小型株指数はMSCIエマージング・マーケッツ中小型指数。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Emerging Markets Discovery Fund」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・新興国中小型成長株投信・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

ご参考

変遷する投資機会を幅広く捉える

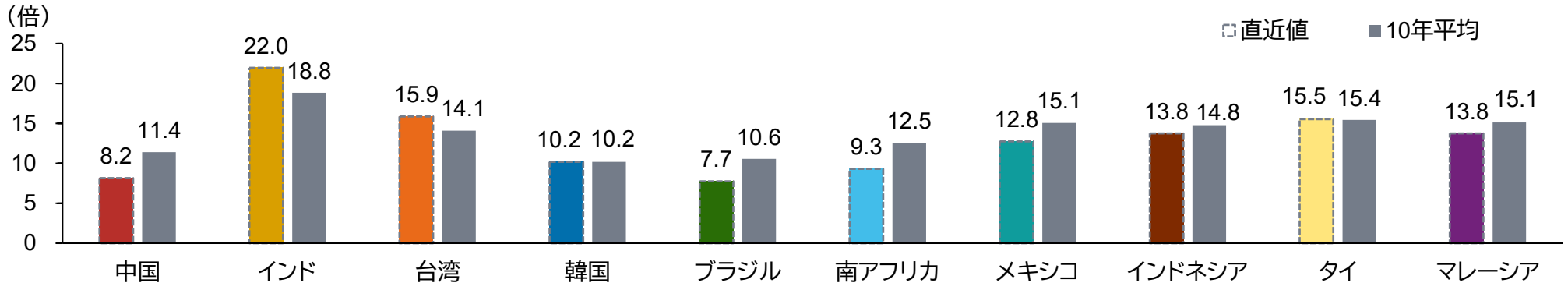
お客さま向け資料

- 新興国株のリターン上位ランキングでは、上位に登場する国の顔ぶれが目まぐるしく変わります。
- 単一国からではなく、バリュエーション格差を見極めて幅広い投資機会を追求します。

新興国株の国・地域別リターンランキング（上位3カ国）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1	インドネシア 27%	インド -6%	ブラジル 67%	中国 54%	ブラジル 0%	台湾 38%	韓国 45%	台湾 27%	ブラジル 15%	メキシコ 42%
2	インド 24%	韓国 -6%	タイ 27%	韓国 48%	タイ -5%	ブラジル 27%	台湾 42%	インド 27%	タイ 5%	ブラジル 33%
3	タイ 17%	中国 -8%	台湾 20%	インド 39%	マレーシア -6%	中国 24%	中国 30%	メキシコ 23%	インドネシア 4%	台湾 31%

新興国株の国・地域別バリュエーション（予想株価収益率（PER））



（注）LSEGよりフィデリティ投信作成。米ドルベース。上段：MSCIエマージング・マーケッツ指数の2023年12月末時点における組み入れ比率上位10カ国のデータを使用。各国のリターンは、四捨五入にて表示。10年以上の組み入れ実績のある国が対象。各年における上位3カ国を表示。下段：予想PERを表示。直近値は2024年1月末時点、10年平均は2014年2月末～2024年1月末の平均。月次。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Fidelity INTERNATIONAL

ファンドの特色

お客さま向け資料

1 フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国*1の国内経済の長期的な成長トレンドから恩恵を受ける中小型企業の株式等（預託証券*2を含みます。以下同じ。）に投資します。

＊1 新興国とは、MSCIの定義によりエマージング・マーケッツに分類された国または市場、世界銀行によって中・低所得国に分類された国または市場や、それらと同等の特性を持つとFIAM LLCが判断する国または市場を指します。

＊2 預託証券とは、ある国の企業の株式を海外でも流通させるために、その企業の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことをいい、発行された国の金融証券取引所等で取引されます。

2 新興国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している中小型企業やその他の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している新興国と緊密な経済関係のある中小型企業の株式等を中心に投資し、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。また、株式等への投資に加え、上場不動産投資信託にも投資を行なうほか、市況動向等により比較的大型の企業の株式等にも投資を行なうことがあります。その他、資金動向、市況動向、残存信託期間、口座開設状況等によっては、上場投資信託等を活用する場合があります。

3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ*3」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

＊3 ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。

4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。

5 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間、口座開設状況等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・新興国中小型成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

Fidelity INTERNATIONAL

ファンドの主なリスク内容について

お客さま向け資料

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。ファンドが有する主なリスク等（ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因　※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。
特定分野投資のリスク	一般的に、中小型株は、流動性や需給動向などにより、投資対象国または地域の株式市場全体の値動きと比較して、相対的に値動きが大きくなる傾向があります。また、金利および経済動向、法制度などの市場環境が、特定分野（特定業種、特定規模の時価総額の銘柄等）に対して著しい影響を及ぼすことがあります。

その他の留意点

クーリング・オフ	ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
流動性リスク	ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。
リートに関わる留意点	リートへの投資においては、保有不動産の評価額、リートに関する規制（法律、税制、会計等）、不動産市況（空室率の変動等）等、リート固有の価格変動要因の影響を受けます。
デリバティブ（派生商品）に関する留意点	ファンドは、ヘッジ目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的の場合に限り、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。
分配金に関する留意点	分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

Fidelity INTERNATIONAL

フィデリティ・新興国中小型成長株投信

追加型投信／海外／株式

お客さま向け資料

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社
インターネットホームページ https://www.fidelity.co.jp/
フリーコール 0120-00-8051　受付時間：営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。
留意点 ご購入、ご換金の受付については、原則として、毎営業日（ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日と同日の場合は除きます。）の午後3時まで(注)受付けます。
（注）2024年11月5日以降は、「午後3時30分まで」となる予定です。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。

その他のファンド概要

信託期間 原則として無期限（2024年4月24日設定）
ベンチマーク ファンドにはベンチマークを設けません。
収益分配 毎年2月20日（ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※第1期の決算日は2025年2月20日とします。
購入価額 当初申込期間：1口＝1円
継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
ご換金代金の支払開始日は原則として換金申込受付日より5営業日目以降になります。
換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料 購入金額（購入申込日の翌営業日の基準価額（当初申込期間は1万口当たり1万円）×購入口数）に以下の手数料率を乗じた額とします。

ご購入代金*	ご購入時手数料率
1億円未満	**3.30%(税抜3.0%)**
1億円以上5億円未満	**1.65%(税抜1.5%)**
5億円以上	**0.55%(税抜0.5%)**

＊ 購入代金＝購入口数×基準価額＋購入時手数料（税込）
※「自動けいぞく投資コース」において収益分配金を再投資する場合は手数料とします。
詳しくは野村證券窓口にお問い合わせください。

換金時手数料 なし

運用管理費用（信託報酬） 純資産総額に対し**年率1.804%（税抜1.64%）**
その他費用・手数料
・組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません。）
・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより差し引かれます。（ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とします。）
税金 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。
税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。
信託財産留保額 基準価額に対し**0.20%**

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。
※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 **フィデリティ投信株式会社**　【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第388号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社 **野村信託銀行株式会社**
運用の委託先 **FIAM LLC（所在地：米国）**
販売会社 **野村證券株式会社**

Fidelity INTERNATIONAL

ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・新興国中小型成長株投信」が投資を行なうマザーファンドは、主として海外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（https://www.fidelity.co.jp/）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IM240306-1　CSIS240215-6　No.0143